

明治8年(1875年)開校 令和6年(2024年)150年目

# 日奈久っ子



八代市立日奈久小学校  
学校便り 第2号  
令和6年4月25日発行  
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

## 毎日元気に過ごす喜び

4月は穏やかな気候で、学校では子供たちの元気な声が聞こえてきます。

日奈久小は、欠席する子供も少なく、朝から「おはようございます」とあいさつをして登校しています。

4月は学年も変わり、教室や先生も変わるなど環境の変化で、気持ちが落ち着かないことがあります。

時々、きついなという表情で登校する子供たちもいますが、家族や友達、先生からの声かけで笑顔になって学校生活を送っています。

教室での子供の様子を見ながら、毎日元気に登校し楽しく学ぶことができる学校を継続していきたいと思っています。

## 本年度の日奈久小学校の目指すところ

昨日の授業参観・PTA総会・学級懇談会、お世話になりました。子供たちの新学期になり張り切っている様子が伝わっていましたら幸いです。

PTA総会で本年度の日奈久小取組についてお話ししたことの一部を、書面でもお知らせします。

### 学校教育目標

郷土への誇りとともに、健やかな心と体を持ち、夢の実現に向けて、主体的に学び続ける子供の育成  
～日奈久プライド 笑顔いっぱい  
やる気いっぱい 元気いっぱい～

### 学校経営理念

「TEAM ビルディング」  
～互いを尊重しチームで動く学校～

複式学級になり、職員も少なくなりましたが、職員全員が子供たちみんなを見ていきます。職員のよさを生かして協力して教育に当たり、日奈久小の子供たちの更なる成長を目指していきます。具体的には、①一部教科担当②中学校乗り入れ授業(図工・音楽)③合同授業などの工夫を行い、子供たちと向き合う時間を多く作っていくことに取り組んでいきます。

## 1年生が安全に下校できますように

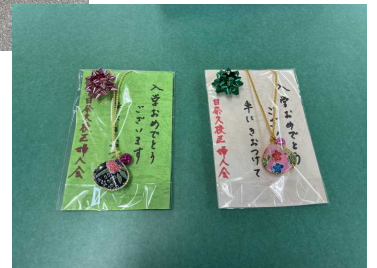
新学期が始まり、新1年生の下校指導が始まりました。子供たちが、帰るときの安全な歩き方を学んだり、帰るルートをしっかり覚えたりする学習をしています。

今年も、山田健二学校地域協働活動コーディネーターに「子供たちの下校見守り」をお願いしたところ、住民自治協議会や婦人会、民生児童委員、安全協会の方など多くの地域の方が子供たちの見守りに来ていただきました。ご多用の中、ありがとうございました。



おかげさまで子供たちは、学校から家(学童)までの道順も覚え、下校できるようになりました。

また、婦人会の皆様には、今年も貝で作った交通安全お守り(ストラップ)をいただきました。



地域の方の子供たちへのやさしさを感じました。ありがとうございます。

### 学校地域協働活動について

「学校地域協働活動」とは、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動は、平成29年社会教育法の改正により、法律に位置付けられています。

地域と学校をつなぐコーディネーター「地域学校協働活動推進員」が教育委員会から任命されています。日奈久校区のコーディネーターを山田健二様をお願いしています。大変お世話になります。